投稿原稿フォーマット

※注釈文・例示(赤字)は論文投稿時には削除し、全て黒字にして提出して下さい。

※投稿前に必ず『生命倫理』投稿規定を確認するようにして下さい。

標題

(邦文) 生命倫理学における自律概念の再検討

(英文) Rethinking the concept of autonomy in bioethics

キーワード

(日本語および英語4-5語) 生命倫理学(bioethics)、自律性(autonomy)、自己決定(self-determination)、関係的自己(relational self)、家族(family)

要旨

(邦文、400字程度)

Summary

(英⽂、300 語程度。なお、英⽂抄録は、必ずnative speaker の校閲を経ることを要する。投稿時に校閲証明書を添付すること)

※論文の長さは本文、図表、注、引用文献等を含め14,000字以内とする。なお、図表は一つにつき400字相当とする。Microsoft Wordで文字数をカウントする場合は、「ツール」から「文字カウント」に進み、「脚注・文末注を含める」を選択した状態で「文字数(スペースを含めない／除く)」を参照すること。

※原稿はA4サイズとし、1頁40字30行(1,200字)の設定とする。

※引用文献は本文末尾に本文引用順に提示する。

※本文および注には、査読時の便宜のために頁数および行番号を付すこと。

※論文審査は投稿者の氏名を伏せた形で行われるため、論文中には投稿者の氏名を記さないだけでなく、本文および注において投稿者が誰か推測されるような記述は極力避けること。また、謝辞(科研費等による助成、指導教員名等)、年次大会で報告した等の記載も、採択決定後に記すこと。（詳細は後述の【重要】の項目を参照）

※以上に加えて、研究公正および倫理的配慮の観点にも十分に留意すること。

**＜研究倫理について＞**

**人を対象とする研究（研究倫理関連の国内法や国の指針の対象ではないが、研究参加者の人権に対する配慮を要する研究も含む）の場合は、適切な倫理審査を受けていること等を本文で述べるようにして下さい。倫理委員会の承認が得られている場合は、委員会の名称と承認番号を記載して下さい。倫理審査を受けることができない等の場合は、行った倫理的配慮の内容を述べて下さい。**

**【重要】（必ずご確認ください）
投稿時には、「編集委員会用投稿原稿（Word形式）」と「査読用投稿原稿（PDF形式）」をご用意いただきます。この際、「査読用投稿原稿（PDF形式）」は査読者が審査を行う原稿となりますので、執筆者を特定しうる表現（「拙著」等）を避け、執筆者特定につながる情報・謝辞等については、「●●●●」等の伏字によりマスキングを行ってください（黒色のマーカー・網掛けでの塗りつぶしは文字情報自体は消えませんので避けてください）。例えば、倫理委員会名を記載する場合は、「●●●●倫理委員会承認　承認番号●●●●」といった形で、機関名を伏字にしてください。
「編集委員会用投稿原稿（Word形式）」はマスキング等はせずにWord形式でご提出ください。**

〈本文〉

1. はじめに、緒言など (見出しの番号はアラビア数字でもローマ数字でもよい)

注

※引用文献は本文末尾に本文引用順に提示する。ただし、注に組み込んでもよい。

※文献の引用形式は自由であるが、著者名、書籍・論文名、発行年、頁数などを明示し、典拠がわかるようにする。また、論文中の引用形式をできるだけ統一する。ウェブサイトを典拠にする場合には「2019年1月1日最終アクセス」のようにアクセス日を明示する。

1)

2)

3)